

HP: <https://rakuno.org/>

同窓会通信－野幌だより－

酪農学園同窓会ニュースレター

高校・短大・大学 同窓生関連の最近の話題

トピック（スケジュール）

05月20日 獣医学科2期生同期会
05月23日 酪農学園同窓会代議員会
05月29日 大学校友会理事代議員会
06月07日 九州地区理事会
06月20日 埼玉県支部総会
06月21日 長野県支部総会
06月25日 機農高酪経4期同期会
06月27日 千葉県支部総会
07月04日 農経30周年同期会
07月04日 ホームカミングデー
07月04日 短大同窓会代表委員総会
07月04日 貴農同志会総会
07月04日～05日 大学祭（白樺祭）
07月18日 長崎県支部総会
07月26日 新潟県支部総会
09月03日 貴農同志会懇話会
09月12日 関東東京神奈川合同総会
10月03日 青森県支部総会

関東甲信越地区埼玉県支部総会報告

6月20日（土）10時より、第31回埼玉県支部総会を、今年は大宮駅東口近くのTKP大宮ビジネスセンターにて開催いたしました。参加者は来賓を含め24名でした。進行は事務局長の大島が務め、まず来賓のご紹介に続き、廣間善之支部長より「多くの会員にご参集いただき、総会を開催できることに感謝します」との挨拶がありました。その後、議長に廣間支部長、書記に安井理事を選出し、議事に入りました。議題では、2025年度事業実績・決算報告および監査報告、さらに2026年度事業計画・予算案について審議し、昨年に続くバス旅行の実施を含め、すべて原案どおり承認されました。総会終了後には、来賓として岩野英知学長、中出哲也同窓会副会長、福山二仁地区会長よりご挨拶をいただき、それぞれ以下のテーマでお話を伺いました。

－岩野英知 酪農学園大学学長：「酪農学園大学の今後の方向性」－中出哲也 同窓会副会長：「酪農学園同窓会の歩みと今後の発展のために」－福山二仁 地区会長：「関東甲信越地区の動向」

続いて特別講演会が行われ、NPO法人北関東医療相談会代表で、本学酪農科13期卒業の長澤正隆氏より、日本における非正規滞在者や難民申請者の厳しい現状についてご報告がありました。国内には7万人を超える非正規滞在者、約1万人の難民申請者がいるものの、難民認定は極めて少なく、就労も認められず貧困に陥る人が多いこと、また健康保険証がないため受診できず、病気を抱えたまま放置される深刻な事例が紹介されました。氏が携わる医療相談会では、医療を受けられない人々に無料相談を行い、必要な支援につなぐ活動を続けています。社会から疎外されがちな人々に寄り添う姿勢は、母校創設者・黒沢西蔵や田中正造が示した「神の愛を社会に実践する」精神と通じるものです。

その後、隣室に移動して懇親交流会を行いました。横塚副支部長の進行のもと、東京都支部長の福田様、関東甲信越地区副会長の作田様、千葉県支部長の鈴木様よりご挨拶をいただき、後藤顧問の乾杯のご発声で和やかな交流のひと時を過ごしました。



酪農学園同窓会埼玉県支部 31回定期総会 TKP大宮ビジネスセンター

酪農学園同窓会の現況(卒業生数)2026.04.01

2025年度 累計卒業生数

大学院 計 1,812名
大学 計 35,544名
短大 計 9,487名
高校 計 22,584名
合計 計 69,427名

酪農義塾 計 303名
酪農学校 計 *91,517名

* 出典酪農学園史2巻より

総合計 161,247名

地区支部の設置状況（ ）は未設置

北海道1区：石狩 3支部（1）（江別）
北海道2区：道央 6支部（2）（空知1）（胆振2）
北海道3区：道南 5支部（2）（後志1）（後志2）
北海道4区：道北 6支部（1）（留萌1）
北海道5区：道東 6支部（0） 26支部（6）

東北地区： 6支部（0）

関東甲信越地区：10支部（0）

中部地区： 7支部（0）

近畿地区： 6支部（0）

中国地区： 5支部（0）

四国地区： 4支部（0）

目次：

関東甲信越市区埼玉県支部総会報告	1
釧路地区 機農高校同窓会報告	2
ホームカミングデーレポート	2
足寄支部第45回『総会』報告	2
九州地区理事会/支部長会議報告	3
小野寺先生退職記念パーティ報告	3
関東甲信越地区長野県支部総会報告	3
関東甲信越地区千葉県支部総会報告	4
	4

同窓会開催報告

令和8年度 釧路地区 機農高校同窓会開催！！



去る4月18日(土)に釧路市内にて、同窓生18名及び、母校からは石川校長、伊藤教諭、そして酪農学園同窓会より長井副会長ご出席のもと、釧路地区酪農学園機農高校同窓会が開催されました。

同窓会は物故を偲んで黙祷を捧げた後、讃美歌312番の合唱によりスタートとなりました。釧路地区同窓会の瀧澤会長挨拶後、長井副会長、石川校長より学園や母校の様子を伝えて頂きました。

乾杯は根室管内より出席して頂いた昭和59年度卒業の北村篤氏の音頭により楽しい宴が開始しました。和やかな雰囲気になったところで参加者全員による1分間スピーチが執り行われ、高校時代のエピソードや現在の状況などの話が繰り広げられました。

今回、令和3年度卒業の若い同窓生も出席されたので、恒例の校歌斉唱は、現在歌われている校歌に続き、機農高校校歌を歌い、集合写真を撮った後、昭和35年度卒業の小瀬泰氏の乾杯で閉会となりました。

今回は半世紀以上の年の差の同窓生が集まる同窓会となり、今後更に同窓の輪が広がることを期待します。

長井副会長、石川校長先生はじめ、ご出席された皆さん、ありがとうございました。（文責 折笠文則）

[illegible]

ホームカミングデープレ報告



初夏の7月4日(土)、酪農学園主催でのホームカミングデーが開催されました。詳細は後日報告いたしますが、概要をお知らせします。10時半から受付開始で、11時半から同窓のつどいが学園ホール1階フロアで約130名の同窓生や学園旧教職員が集いました。軽食やビンゴゲームで楽しんだあと、白樺並木で記念撮影を行い、その後黒澤記念講堂に移動して記念礼拝や記念講演が行われました。

同窓生は遠くは九州や関西、関東からもお越し頂き、年に1度の「同窓のつどい」や同時開催の白樺祭（大学祭）を楽しんでいただきました。また、来年お待ちしております。

酪農学園同窓会足寄支部第45回『総会及び昼食会』



5月31日（日）正午より、設立48年目の酪農学園同窓会足寄支部、第45回『総会及び昼食会』を例年通り町内の「ひさご食堂」で開催しました。

今回も、全会員47名（40家族会員含め）にハガキとSNSで案内する。今年は久しぶりに当初通りの11名の会員の参加で開催することができました。

今回の開催場所も、昨年に続いて消防署を早期退職して4年目の大竹口徹さんが、祖母が過去に経営していたお店を引継ぎ、独立して経営主となってこの間頑張っています「ひさご食堂」で開催することが出来ました。

総会では、磯守会長の開会挨拶で、「設立48年目の酪農学園同窓会足寄支部、第45回『総会及び昼食会』を例年通り開催することが出来ました。足寄支部の今後についても協議願いたい」と挨拶がありました。

事務局からはこの間の経過報告と収支決算が報告され承認、会員の移動状況等が報告されました。又、役員改選では、磯会長以下全役員が留任となり承認されました。

今回は、この間毎年開催されて来た会員の参加状況・役員等（18年分：2009年以降）を事務局が説明して、今後の方向性等を検討しました。

交流会は、阪本環副会長の乾杯で開始、『将来の後継者等の交流の場の同窓会として設立50年までは頑張ろう!!。来年も開催しよう』

例年のごとく年の差は会っても、会員同志の近況状況等が報告され和気あいあいと交流することが十分に出来ました。

最後の閉会挨拶は、何時もの坂本秀文副会長が『一年にいったん位また集まりましょう。と一本×（閉め）』で交流会を閉め、全員で記念写真を撮って解散となりました。

写真は、総会後の交流会状況（懇親する会員・参加者11人全員での記念撮影です！！）5-6枚。送付します。お願い致します。（報告：鈴木利邦事務局長・役員一同）

[illegible]

〒069-8501

北海道江別市文京台緑町582

酪農学園同窓会

電話 011(386)1196

FAX 011(386)5987

Email: rg-dosok@rakuno.ac.jp.



酪農学園同窓会

酪農学園100周年記念寄付事業

創立100周年記念寄付事業

2024ホームカミングデー チャリティTシャツ募金

2,000円で購入いただくTシャツの一部が募金になります。

Tシャツ原価を引いた1,000円程度が

学校法人酪農学園 創立100周年事業への寄付になります。



Tシャツの色：ネイビー
左胸フポイント
・背中A4サイズ程度（白プリント）
※画像はイメージです。実際の生地の色やデザインが変わることがあります。

募集要項(7月よりホームページにて全文公開)

1. 募金の名称 創立100周年記念事業募金
2. 募金の目的・使途
施設の大規模改修・再編
(1) 大学：研究・実習施設の整備・新設、事務管理棟の集約化など
(2) 高校：基本方針として、現有施設を活用し続けるための計画的改修など
(3) 附属施設：旧精農寮保存のための改修、馬術部施設の移転・新設、研修館周りのインフラ整備など

問合せ先：事務局財務課 011-388-4148（寄付担当）

関東甲信越地区千葉県支部総会報告



酪農学園同窓会関東甲信越地区 千葉県支部総会

2026年6月27日 千葉県教育会館

令和8年6月27日14時30分より、千葉県教育会館本館203会議室において、千葉県支部総会を開催しましたので報告します。当日は、台風8号、7号が同日に接近通過し、瞬間的な大風と豪雨という悪天候のなか、大学、短大卒業の支部会員22名にご参加いただきました。また来賓として、酪農学園大学 岩野学長、野 同窓会会長、福山 関東甲信越地区会長、廣間 埼玉県支部長、福田 東京都支部長のご臨席を賜りました。岩野学長からは「私が出張すると悪天候になる」とのお話があり、まさにその言葉どおり嵐を呼ぶ中での開催となりました。

総会の前に、長年、当支部活動にご尽力された、酪農2期 岡田勉顧問、酪農9期 増田澄夫顧問、高校酪農経科4期 半澤司理事がご逝去され、謹んで哀悼の意をこめ、参加者全員で黙とうを捧げました。

総会は、鈴木支部長の挨拶の後、議長に鈴木支部長が任命されて議事に入り、第1号議案から第3号議案までのすべての議案が満場一致で承認されました。議事終了後には、改めて岩野学長、野 同窓会会長、福山 関東甲信越地区会長よりご祝辞を頂戴し、総会は無事閉会となりました。

総会に続いての講演会は、岩野学長から「酪農学園大学の今後の方向性～地域を支え、産業界を支える次世代リーダーを育てる」と題し、学園を取り巻く厳しい状況と学園はどのように対応しているかと今後のプランを講演していただきました。大学の将来に待ったなしの厳しい状況であることを改めて認識する、大変意義深い内容でした。

また、獣医25期である千葉県農林水産部畜産課 江森美香 畜産課長様より、千葉県の畜産情勢についてご講演をいただきました。千葉県が鶏卵全国1位、養豚4位、酪農5位を誇る屈指の「畜産県」であること、近年のHPAI（高病原性鳥インフルエンザ）が約2年周期で大発生しており、特に令和6年シーズンは16事例・約335万6千羽に上ったことなど、現状の課題と対策を丁寧に説明いただきました。フロアからはHPAIワクチンを要望する意見が出るなど、活発な質疑応答が行われました。

講演会終了後には、文理短大38期の皆川さんが営む「皆川牧場」（船橋市）より、都内有名百貨店にも納品されている自家製チーズ（フレッシュチーズセット）を数量限定で特別提供していただき、大変な人気を呼び、瞬く間に完売となりました。

その後、さらなる悪天候が予想されるなか、交流会は15名の参加となりましたが、講演会で語り切れない話題や近況などを語り合い、美味しい料理とお酒を酌み交わし、あっという間にお開きの時間になりました。この日、千葉市の一日の総雨量が100ミリを超え、足元はいにくのコンディションとなりましたが、同窓の皆さんと言葉を交わし、ほんわかと心が和む一日となりました。

（文責：事務局長山田）



酪農学園大学

ブランドマークとキャッチフレーズ

生きるを学ぶ。
学びが生きる。

